

新しい都市問題の解決に向けた 「都市のガバナンス」 (ゼロカーボンシティを題材として)

企画調整研究に関する科研費応募内容について

浅川 賢司

研究背景

- 国内外で多くの自治体が「ゼロカーボシティ宣言」
(しかし、特に国内では実効的な計画に欠ける)
- 「ゼロカーボシティ」には：
 - 庁内連携：温暖化対策部門とその他事業部門との連携が不可欠
 - 庁外連携：市民の協力，市内企業との連携（権限なき行政）が不可欠
- 庁内外連携における中心的な存在：「企画調整部門」（都市のガバナンスの媒介役）
 - 当時としては新しい都市問題であった都市の急成長への対応を担っていた企画調整（1960-70）

研究目的

- 自治体は常に新しい都市問題に直面している
- 「**地球温暖化**」も現代の新しい都市問題のひとつ
- 「**地球温暖化**」への対応（脱炭素化）は都市の成長戦略になりうる
- 脱炭素化には市民・企業との協働が必要：「**都市のガバナンス**」構築
- 都市の急成長への対応という成長戦略に向けた**企画調整（1960-70）**



新しい都市問題を解決しうる「**都市のガバナンス**」のあり方

その構築のために**企画調整**はどのような役割を果たしてきたか？

研究仮説

1. 1960-70年代の「企画調整機能」は **現代に継承されなかった**
2. 1960-70年代の「企画調整部門」には **機能不全があった**

学術的「問い」

1. 「企画調整機能」とは何か

- 市民協働，社会調査，内外の人材交流，機能統合，財政調整

2. 「企画調整機能」はなぜ消滅したのか

- 企画力の欠如，調整力の欠如，パートナーシップの欠如

研究体制

- 浅川賢司 【自治体の温暖化対策 x 都市のガバナンス（企画調整）】
- 檜楨さん 【都市のガバナンス（企画調整） x 行政学】
- 田口さん 【都市のガバナンス（企画調整） x 都市計画学】
- 青木さん 【都市のガバナンス（企画調整） x 都市社会学】
- 星先生・鈴木先生 【都市計画学】

ご清聴ありがとうございました。

浅川賢司

asakawa@iges.or.jp

IGES Institute for Global Environmental Strategies
公益財団法人 地球環境戦略研究機関